

第19号 H26.11.11
発行者 甲斐昭児
☎ 23-3611

【めざす生徒像】

- ◆ 進んで勉強する生徒
- ◆ 礼儀正しい生徒
- ◆ 明るくたくましく生徒
- ◆ 感謝の心で、残さず食べる生徒



細野中だより



C D組の花壇で立派なさつまいもが採れました。6月に植え付けたものです。その数59個。1つもらい、いも天にして食べました。なかなかおいしかったです。収穫の秋ですね。

◆ 西諸地区駅伝大会 (10/28) ◆



14校中、女子は13位、男子は9位でした。文化祭の準備等で十分な練習ができない中、自己ベストを目指して全力の走りを見せてくれました。

- 【駅伝】(1年) 西村雅帆さん (2年) 平川千華さん
内永葵さん 深井麻友香さん (3年) 中堂園和代さん
(1年) 徳永真大くん (2年) 鈴木美響くん 田中大和くん
(3年) 立山翔一くん 宮原翔角くん 南園知樹くん
【ロードレース】(2年) 中園きららさん



◆ 文化祭(11/2) ◆

多くの皆様にお越しいただき、ありがとうございました。

「34年の教師生活の中でも感動した文化祭の一つ」と閉会式で話しました。後日、お昼の放送で、印象に残ったことなどを話しました。

【実行委員】準備も本番もよく動いた。スーパーにポスターを貼ったり店頭でチラシを配ったりと、広報活動にも力を注いだ。

【1年発表】完全に覚えて顔を上げて発表していた。O×クイズは観客も参加して盛り上がった。お世話になった北きりしま田舎物語の皆さんに案内状を出したのは良いアイデアです。



【国語弁論】家族や平和、環境問題についての発表は分かりやすく説得力があり、自分の周りをよく見ていると感じた。

【英語弁論・暗唱】11人が出場。ジェスチャーや声の調子で表現力を高める工夫が見られた。西諸大会に挑戦してほしい。

【合唱コンクール】音楽の先生が決まらず、練習が1カ月近く遅れたことを考えれば、どの学年もよくやったと思う。

《1年》変声期というハンディを乗り越え、大きな声で元気よく歌った。金が獲れたのは音程がしっかりしていたから。

《2年》ABともに課題曲に比べて自由曲の完成度が高かった。原因は練習期間が短かったことと課題曲の難易度。



《3年》男声の音質と女声の高音が聞かせどころ。やはり課題曲の難易度が高く、自由曲の仕上がりの方が良かった。3Aはハーモニーの精度を上げて西諸音楽祭に臨んでほしい。

【PTA・職員コーラス】夜に3回の練習をし、多くの皆さんに参加していただいた。出来栄については、私は心から「自己満足」しています。

【服のチカラ・プロジェクト】説明が分かりやすかった。ポスターを貼った保育園から、早速、子ども服が届いている。

【2年発表】全ての職場体験の感想を聞くことができ興味深かった。消防署で指導を受けた心肺蘇生法を紹介した寸劇は面白く、かつ勉強になった。



【3年発表】発表と劇を組み合わせたアイデアが良かった。劇の占める割合が大きかったのも新しい発表形態。分かりやすく面白いということで小さい子どもたちにも好評だった。



【個人発表】過去の文化祭で見てきたバンドと比べてもレベルが高いと感じた。よく練習した！と思わせる演奏だった。

【吹奏楽部】「支えてくださる方に音楽で恩返し」という部のスローガンを身近に感じた。様々なイベントや介護施設などでの演奏を通して、上手なだけの演奏を超えるよう期待している。



【お知らせ】□ ① 小学生や地域の方へのメッセージ「気をつけて行ってらっしゃい！」の横断幕を掲げてのあいさつ運動を数日前から始めています。生徒会役員のアイデアです。

□ ② 用務員の山本さんが玄関前の池を干し、たまった落葉や泥を取り除きました。数匹のフナと金魚がいました。教頭先生の話では2年ぶりだとか。何よりの収穫は、ずっと分からなかった排水用の穴が見つかったこと。きれいにして魚を飼います。



□ 県大会に出場した選手たちは健闘したものの、入賞することはできませんでした。応援ありがとうございました。

服のチカラ・プロジェクト ～ 子ども服を難民の方々へ～



昨年の活動の様子

世界の難民の総数は5,120万人以上と言われています。(2013年末時点) 不自由な生活の中で不足している物の一つが子ども服です。

ベビー服から160cmまでの着れなくなった子ども服を集めます。昨年度はダンボール10箱分の古着を送りました。11月いっぱいです。

ご協力をお願いします。